

土木学会継続教育プログラム 平成 21 年度「安全で経済的な施工計画を行うための講習会」受講者アンケート調査結果

【講習会名】 安全で経済的な施工計画を行うための講習会
 - 施工計画と総合評価方式(発注者の視点)について -

【開催日時】 2010年1月19日(火)

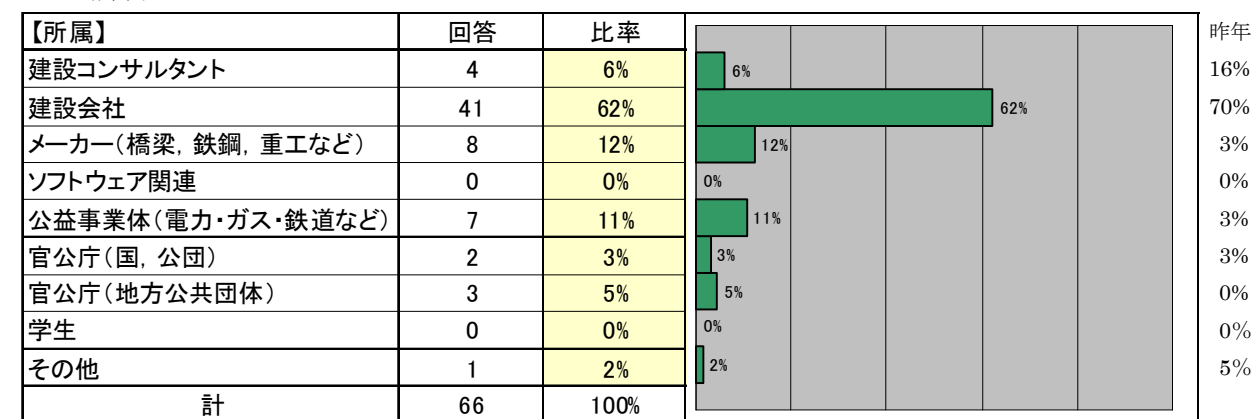
【開催場所】 土木学会講堂

【申込者数】 87名

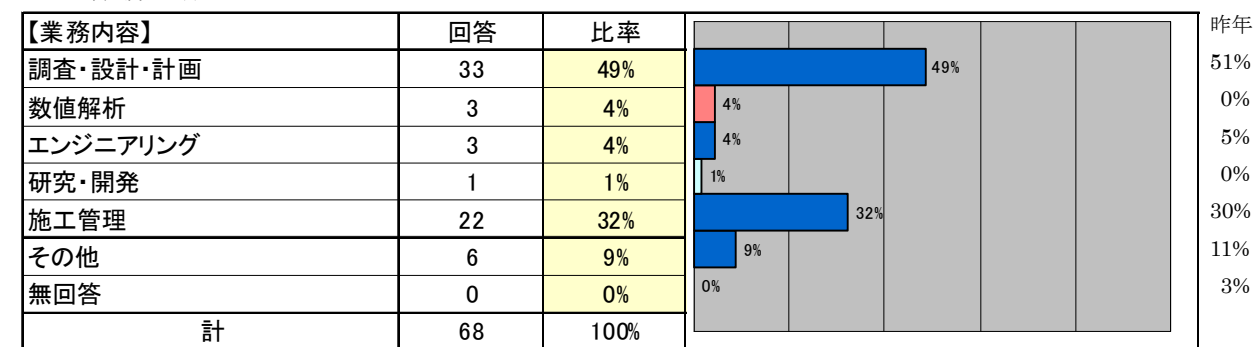
【アンケート回答数】 66(回収率76%)

1. 受講者プロフィール

1.1 所属

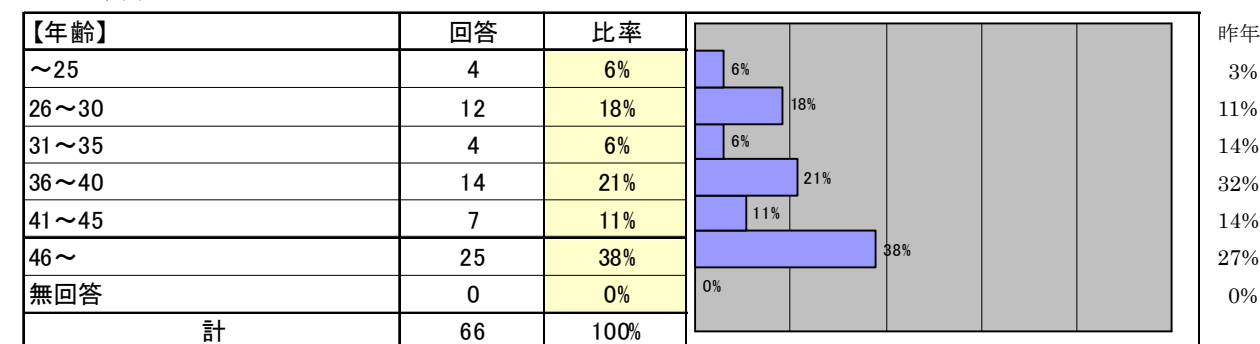


1.2 業務内容

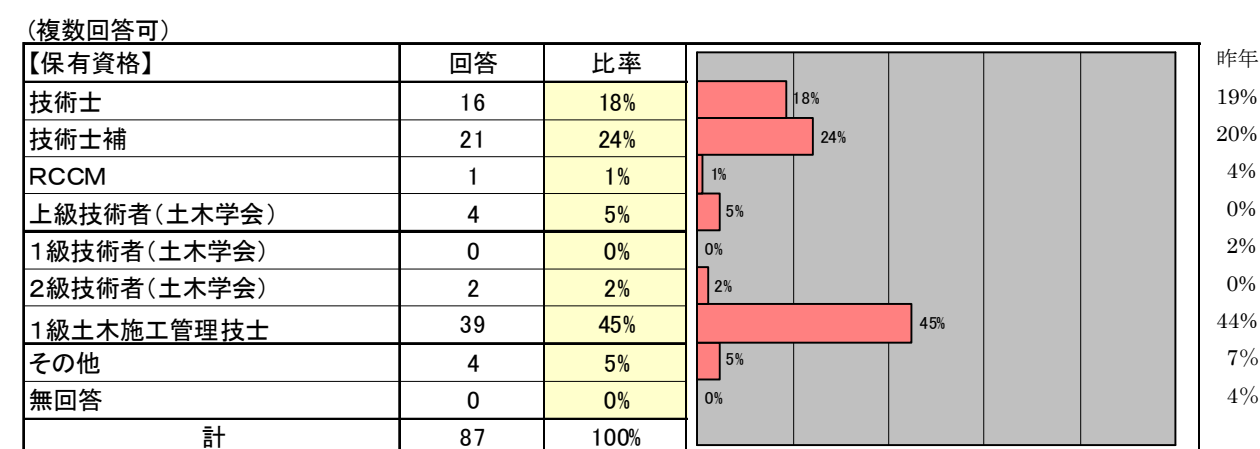


(その他: 営業、企画管理)

1.3 年齢

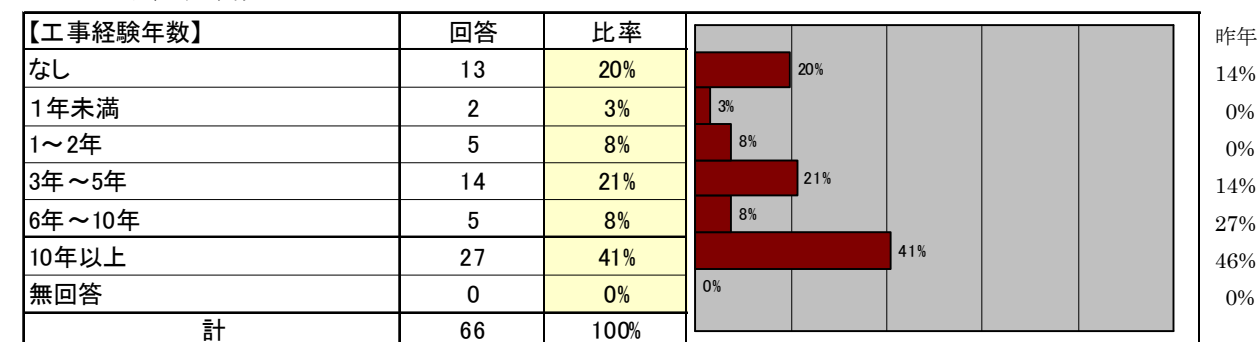


1.4 保有資格(複数回答可)



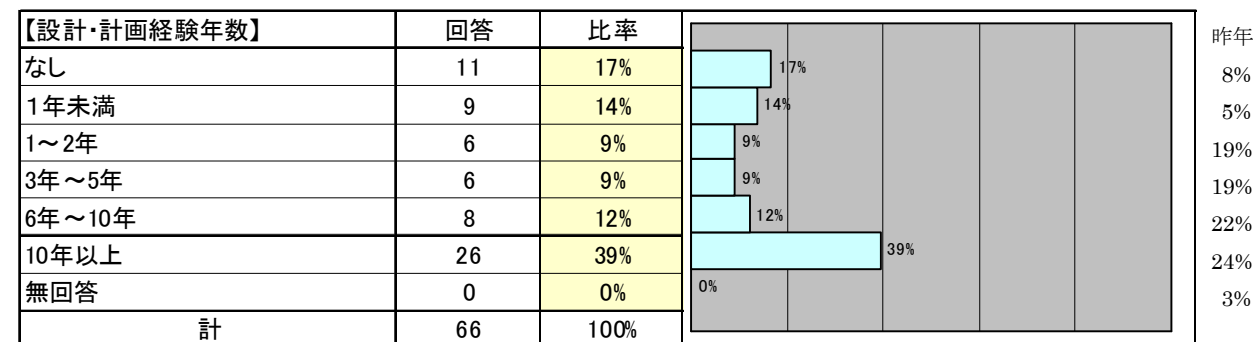
(その他の内容: コンクリート主任技師)

1.5 工事経験年数



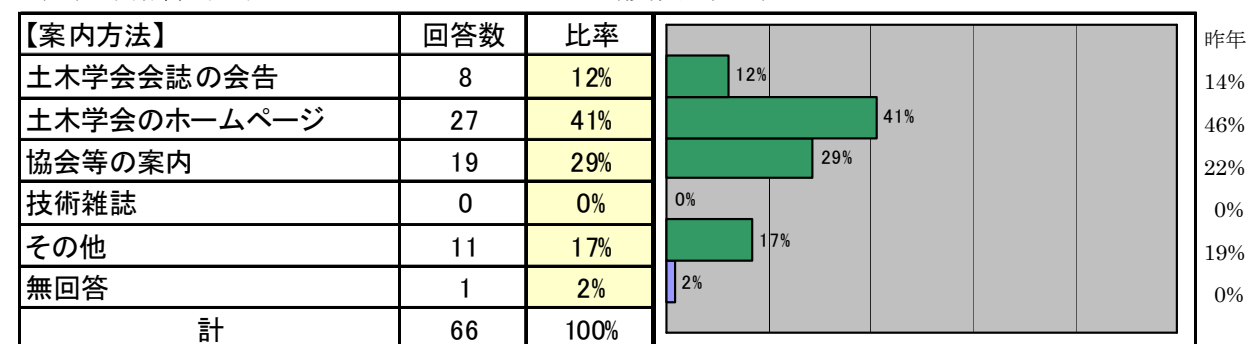
土木学会継続教育プログラム 平成 21 年度「安全で経済的な施工計画を行うための講習会」受講者アンケート調査結果

1.6 設計・計画経験年数

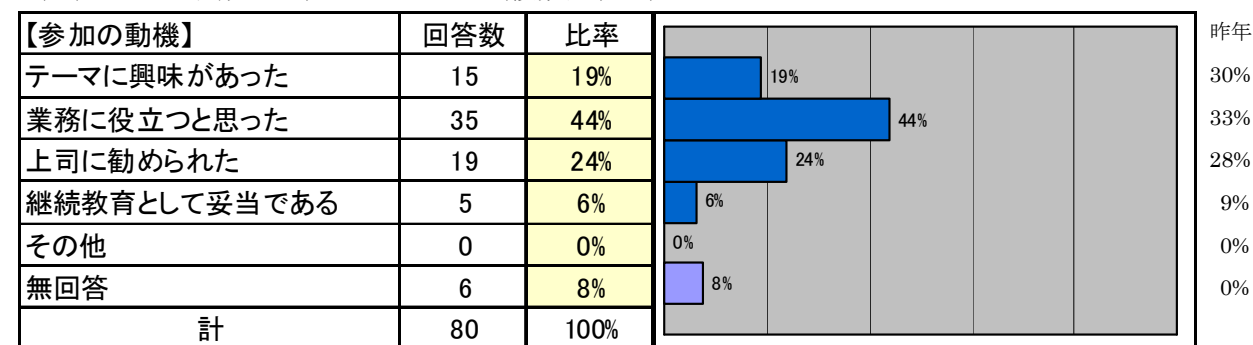


2. 講習会について

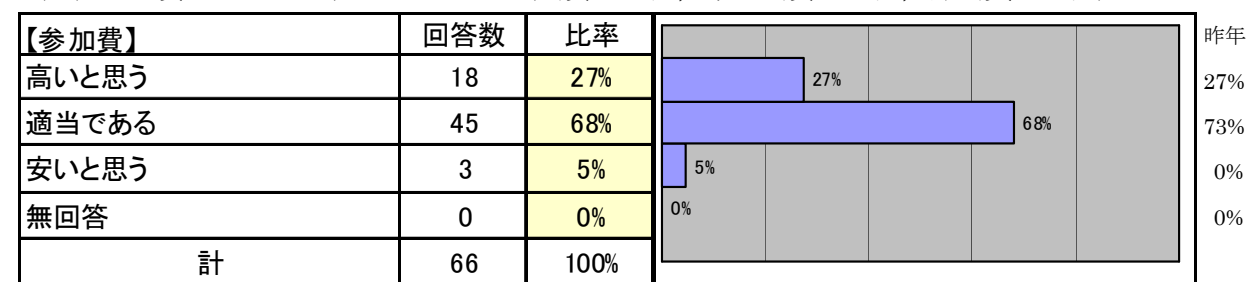
(1) 本講習会を何でお知りになりましたか。(複数回答可)



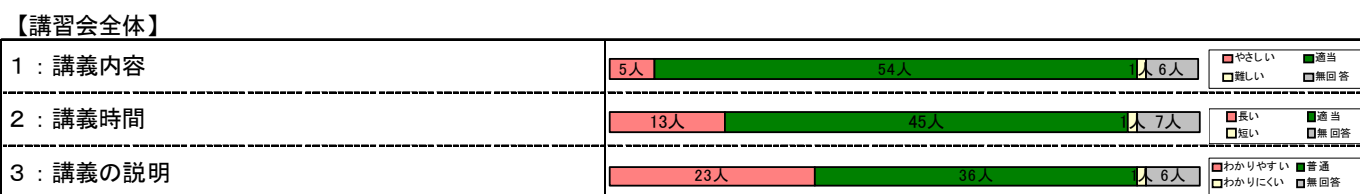
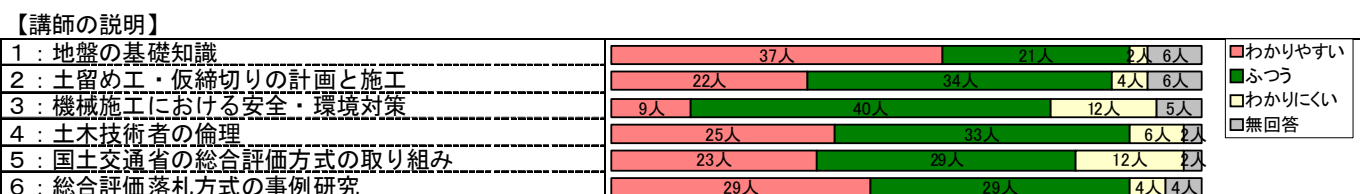
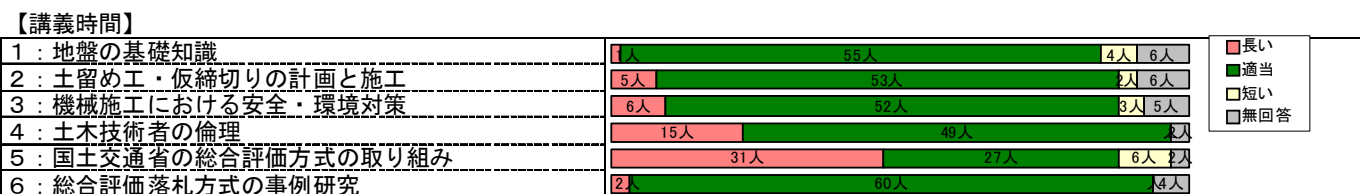
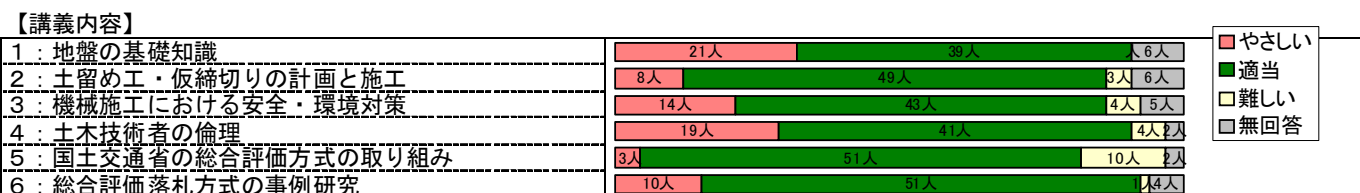
(2) 参加の動機をお答えください。(複数回答可)



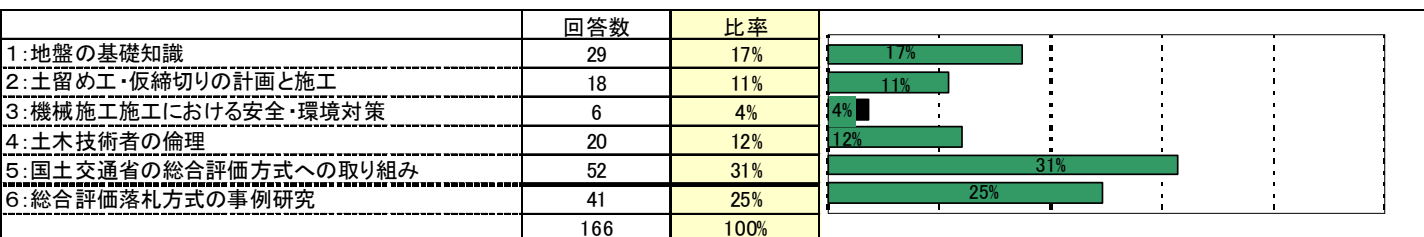
(3) 参加費についてお答えください。(会費 6 千円, 学生会費 3 千円, 非会員 7 千円)



(4) 講義内容の難易度と講義時間, 講師の説明の感想を, セッション毎にお答えください。



(5) 講義内容が特に良かった(啓発された, 実務に役立つ)セッションをお答えください。(複数回答可)



3. 講習会の感想・意見集計

注) 朱記は総合評価関連 紫記は辛口コメント

- ・ 充実した 1 日でした。全ての講義に興味があったので有意義でした。
- ・ 国交省（国総研）から総合評価の説明、実態を学ぶことができ大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ 午後の 4, 5 時限間に休憩が欲しい。(長すぎる)
- ・ カラー資料をホームページなどでダウンロードできれば便利だと思います。
- ・ 国交省の取り組みについては、最新情報が開けて有益だった。今後もこういう機会を増やして欲しい。
- ・ 1 日の講義時間としては内容が過密すぎるのではないのでしょうか。
- ・ PPT スクリーンが見づらい。半分ほどしか見えない。→資料を充実させる。会場の変更
- ・ 4. 土木技術者の倫理におけるスペースシャトルチャレンジャーの話は不明確だった。
- ・ 総合評価落札方式については多くの片が興味を持ってもらえると思うので、この話題で 1 日使ってもいいかと思います。
- ・ 守秘義務があり専門性の高い技術士等を社会整備に生かせませんか
- ・ 次回はテーマを絞る橋梁、トンネル、空港等の施工計画に関する講習会を（安全で経済的）施工実例を用いた講習会を開きたいです。
- ・ 「5. 国土交通省の総合評価方式への取り組み」ですが、PPT の文字が小さく分かりにくかった。また、枚数が多いためか早口で聞き取りにくい。
- ・ 1 回の講習の中で複数のテーマがあるため散漫な感じもする。
- ・ ①仮設工 etc については基本的すぎるが、たまにはこういうこともゆっくり聞いて良かった。
- ・ ②総合評価方式の取り組みについて国の取り組みが理解できた。
- ・ 私の勤めている三重県とはかなり違っているのかなと思った。
- ・ 今回の講習会については、設計及び施工計画を策定する上で参考となる知識を再認識できたが、地盤、土質工等に限らず他工種における講義についても開催されることを望む。
- ・ P35～P41 に地耐力の検討方法例が示されていますが、出典を明記していただいた方が良いと思う。
- ・ AM と PM で講習テーマが全く異なる。テーマを絞って頂くと良い。PM の講義が目的で来た。
- ・ 機械化施工の機械の写真が多くあればさらに良かった。
- ・ 総合評価方式の話が色々開けたのが良かった。
- ・ ③機械化施工の講義について、ごく当たり前の内容が多かったのが残念であった。もっと具体的な対策や工夫が聞きたかった。
- ・ ⑤国土交通省の～について、文面だけでは理解しづらい内容を言葉（口頭）で開けたことでより理解することができた。今後さらに各地整でバラツキがあることを踏まえて、各地整毎の考え方や評価方針などについて講義して頂きたい。
- ・ 総合評価の事例をもっと増やして欲しい。
- ・ 休む時間のバランスが悪い。
- ・ 5. 「国土交通省の総合評価方式への取り組み」と、6. 「総合評価落札方式の事例研究」の講義内容でラップしている部分があるので、その部分を省いて頂きたかった。
- ・ パワーポイントの資料を配付資料に添付してもらいたい。(配付資料が講義内容より少ないため、講義内容を記述していけない。)
- ・ デザインビルトの場合、設計料という観点については発注者側としてどうお考えですか。
- ・ 4. については、土木技術者だけが倫理に基づく活動があっても相手が倫理的に対応していない現実がある。クレーマーや権利主張ばかりの人たちへの対応はどうすればよいのか。
- ・ 5. について新規参加者はどのようになるのか。実績重視だけで健全な技術発展、改革的な技術開発は行われるのだろうか。
- ・ テキスト P90 総合評価方式の実施状況で、1 件落札が約 90%になることを報告しているが、これは談合が行われたのか、または、発注側が配慮したためではないのか。地域の土木業者が平等に落札できるようにしたのではないのか。
- ・ 地質調査に関する講義は、素人にも分かりやすい内容、事例であり、大いに参考になった。
- ・ 機械化施工に関しては、発注者として施工上留意すべき安全に関する事項に興味があったが、その様な講義内容が盛り込まれておらず残念であった。
- ・ シールド・トンネル工事に関する近接施工、協議に関して事例を含めた講習会の開催を要望します。